東京都の経済情勢報告

令和８年11月５日
財務省関東財務局
東京財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

1. 総論

【総括判断】「都内経済は、緩やかに回復している」

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	**緩やかに回復している**	→

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復している。産業活動は、回復しつつある。雇用情勢は、改善している中、企業の人手不足感は続いている。

【各項目の判断】

項　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	**緩やかに回復している**	→
産業活動	回復しつつある	**回復しつつある**	→
製造業	回復しつつある	**緩やかに回復している**	↗
非製造業	回復しつつある	**回復しつつある**	→
雇用情勢	改善している	**改善している中、企業の人手不足感は続いている**	→
設備投資	8 年度は増加見込みになっている	**8年度は増加見込みになっている**	→
企業収益	8 年度は減益見込みになっている	**8年度は減益見込みになっている**	→
企業の景況感	現状判断は、「上昇」超幅が縮小	**現状判断は、「上昇」超幅が拡大**	→
住宅建設	前年を上回っている	**前年を上回っている**	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費　「緩やかに回復している」

百貨店販売額、スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。宿泊や飲食サービスについては、緩やかに回復している。このように個人消費は、緩やかに回復している。

（主なヒアリング結果）

- 売上げは前年同期を上回っており、堅調に推移している。化粧品や時計のほか、株高による資産効果を背景に、ラグジュアリーブランドの売行きが好調である。（百貨店）
- 前年に比べて今夏は気温が低く、アイスクリームや清涼飲料水の売上げは伸び悩んでいるものの、価格転嫁の進展により、当社全体の売上げは前年同期を上回っている。（スーパー）
- 消費者の節約志向が続いている中、割引キャンペーンが奏功し、売上げは前年同期を上回っている。（コンビニエンスストア）
- 品質を重視して高価格帯商品を選ぶ層と、価格を優先して低価格帯商品を選ぶ層との二極化が進む中、理美容品やエアコンの販売が好調で、売上げは前年同期を上回っている。（家電量販店）
- 前年に比べて気温が低く、夏物商品の需要は落ち込んでいるものの、新規出店のほか価格改定の影響により、売上げは前年同期を上回っている。（ドラッグストア）
- 旺盛な宿泊需要を背景に、売上げは前年同期を上回って推移しており、業況は良い。（宿泊）
- 天候不順の影響により客数は伸び悩んでいるものの、価格改定に伴い、売上げは前年同期を上回っている。（飲食サービス）
- 降雨が続いたことから、客数は前年同期を下回っている。今夏は観光を目的とした外出機会が減少している。（娯楽）

■ 産業活動 「回復しつつある」

製造業は、食料品で減少しているものの、電気機械や汎用・生産用・業務用機械等は増加しており、緩やかに回復している。非製造業は、情報通信業や卸売業等で増加しており、回復しつつある。このように産業活動は、回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 半導体製造装置向けに計測器の需要が高まっていることから、生産量は増加傾向にある。（電気機械）
- 半導体需要の高まりを背景に、半導体製造装置を増産している。（生産用機械）
- 航空機需要の拡大を受けてエンジン部品を増産している。売上げは前年同期を上回っており、業況は良い。（輸送機械）
- 米の供給過剰感から売上げが伸び悩んでいる。また、前年同期における備蓄米放出に伴う増産の反動もあり、生産量は減少傾向にある。（食料品）
- 企業のIT投資需要が旺盛な中、データ分析サービスやセキュリティ関連サービスが好調で、売上げは前年を上回っている。（情報通信）
- 原材料価格や物流費などの上昇を受けて価格転嫁を進めている。売上げは前年同期を上回っており、業況は良い。（卸売）

■ 雇用情勢 「改善している中、企業の人手不足感は続いている」

有効求人倍率はおおむね横ばいで推移している。法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、「不足気味」超となっている。このように雇用情勢は、改善している中、企業の人手不足感は続いている。

（主なヒアリング結果）

- 競合他社との人材獲得競争により、人手不足は続いている。このような中、調理スタッフが不足している店舗については、弁当や総菜などの店内調理に時間を要している。（小売）
- 製造部門を中心に人手不足に陥っている。このため、管理部門から製造部門に応援要員を派遣することで対応している。（製造）
- DX人材が不足する中、賃上げにより人材確保を図るとともに、業務の省力化を進めることで人手不足に対応している。（情報通信）

■ 設備投資 「8年度は増加見込みになっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8年7-9月期

○ 8年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「8年度は減益見込みになっている」（全規模）「法人企業景気予測調査」8年7-9月期

○ 8年度の経常利益は、製造業は減益見込み、非製造業は増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超幅が拡大」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8年7-9月期

○ 先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

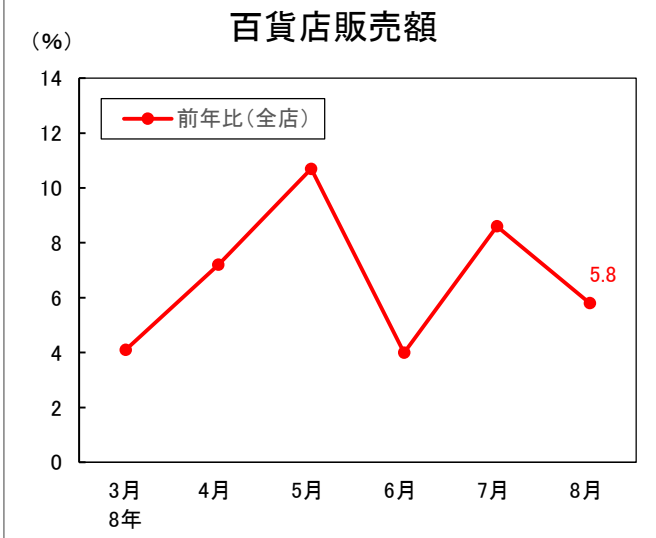
○ 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を下回っているものの、持家、貸家は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

東京都の経済情勢報告

資料編

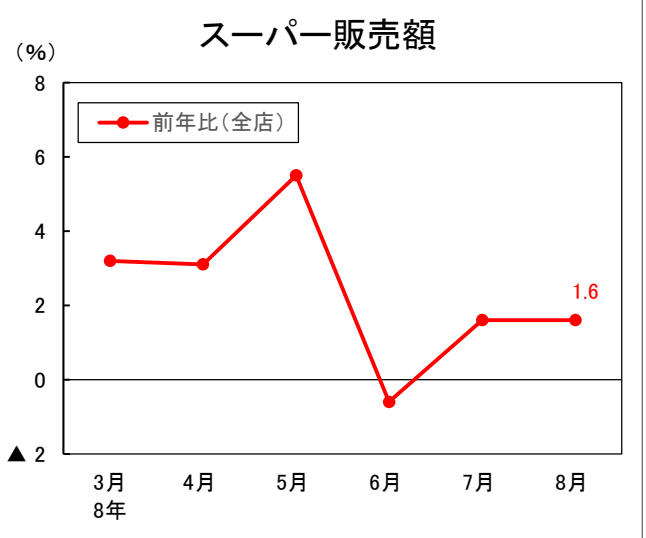
1. 個人消費

【グラフ1】



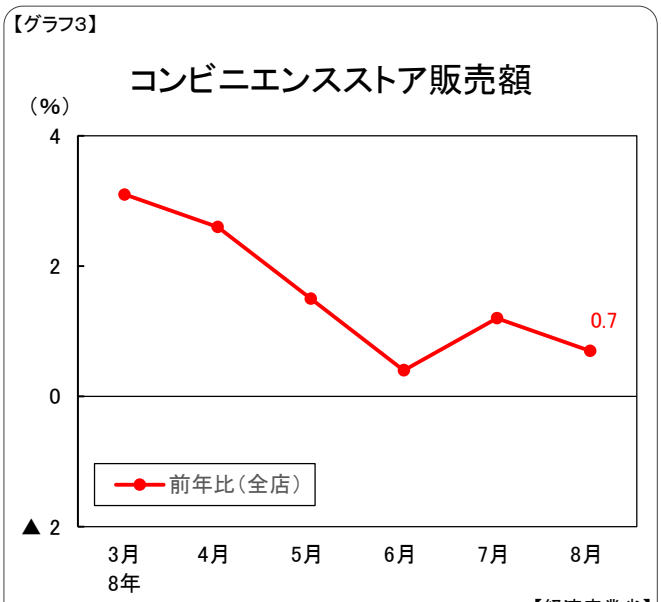
【経済産業省】

【グラフ2】



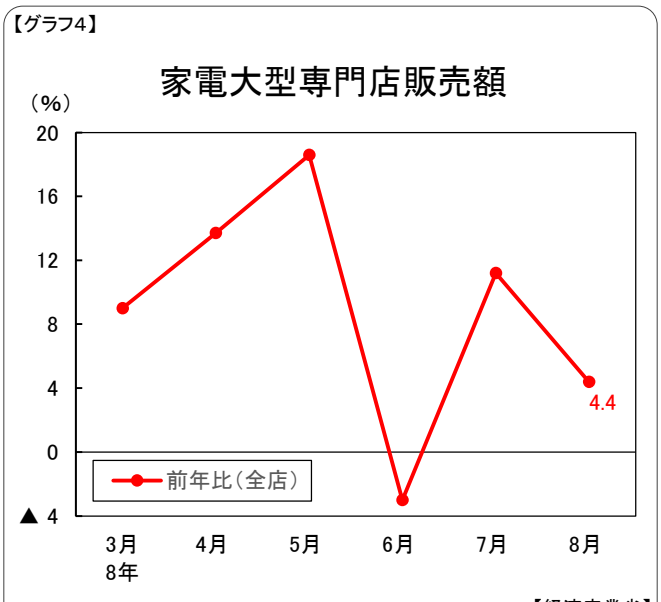
【経済産業省】

【グラフ3】



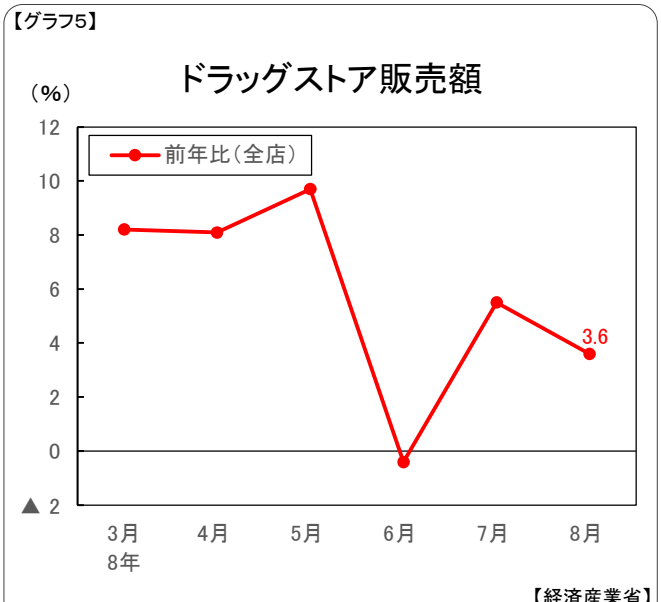
【経済産業省】

【グラフ4】



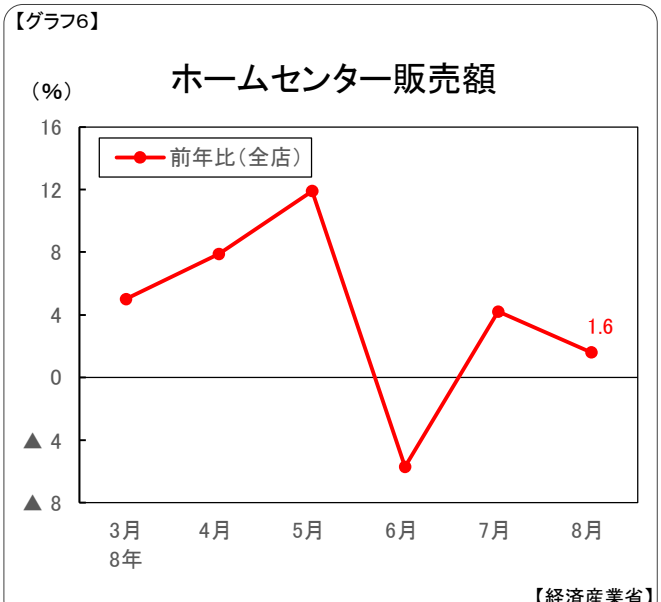
【経済産業省】

【グラフ5】



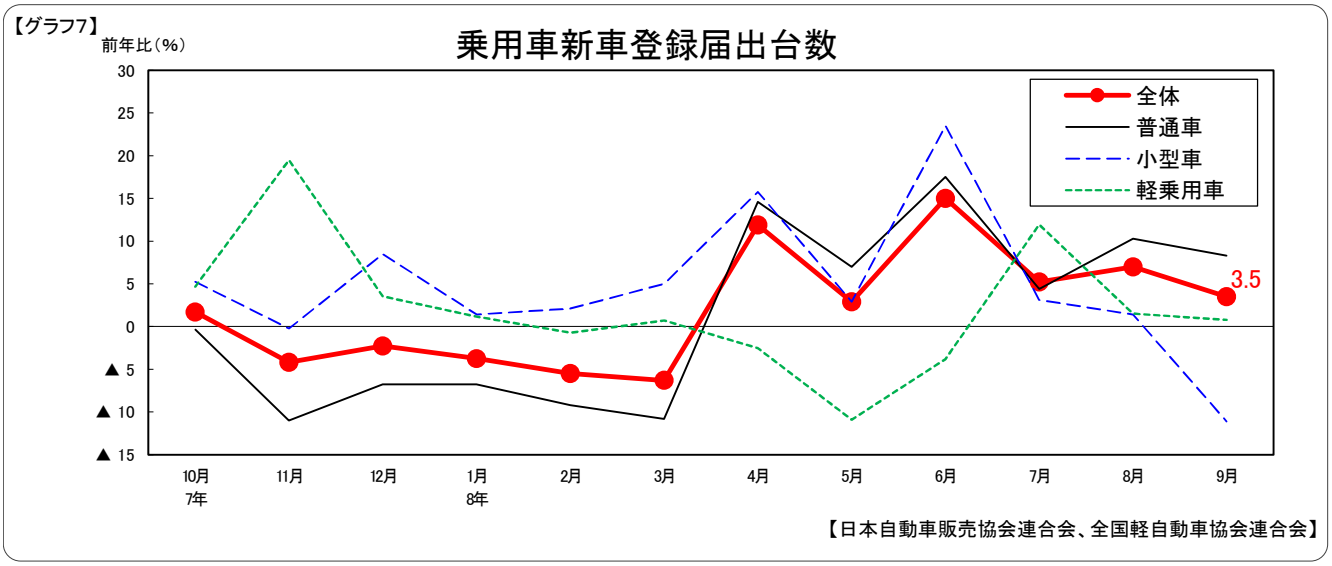
【経済産業省】

【グラフ6】



【経済産業省】

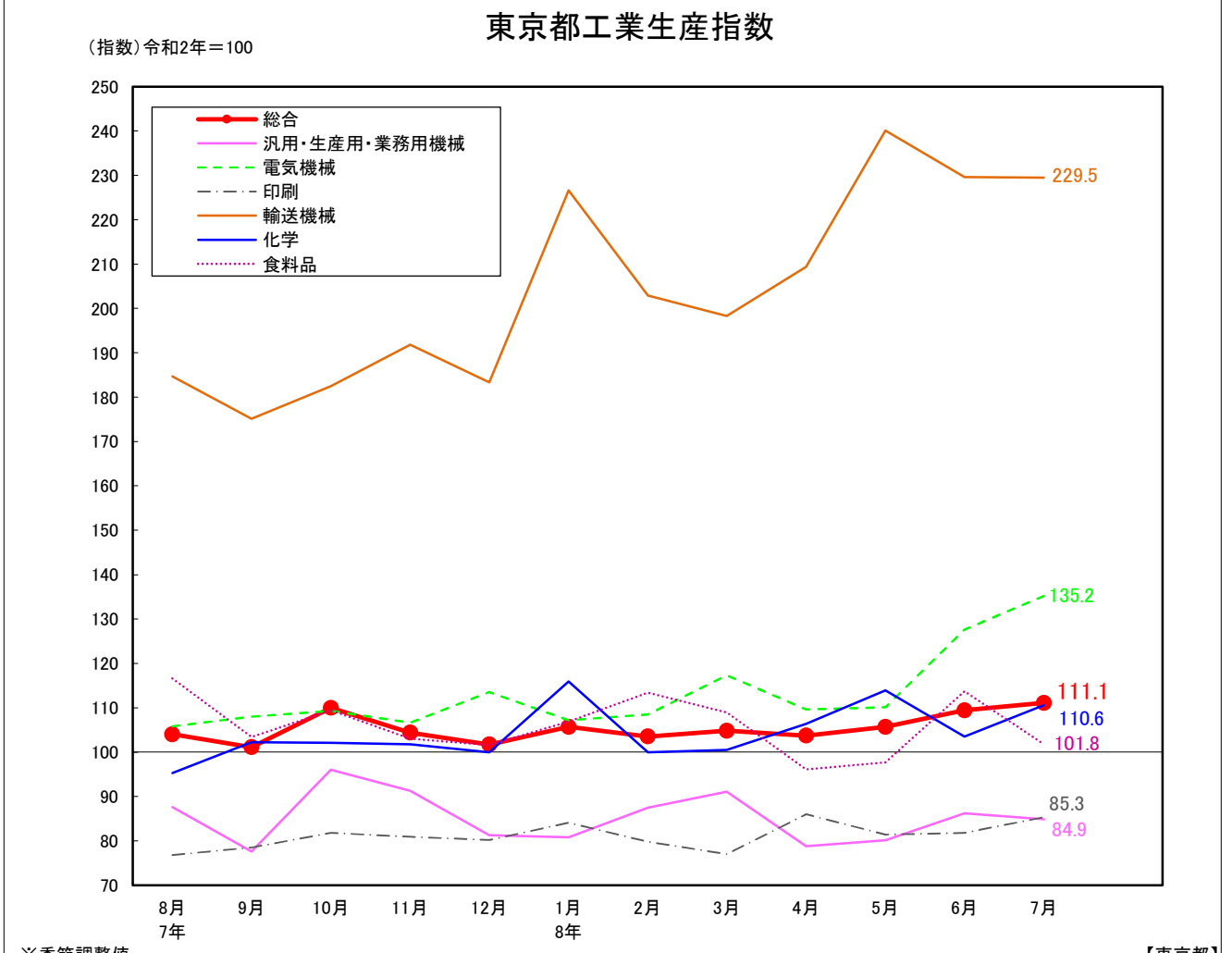
【グラフ7】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

2. 産業活動

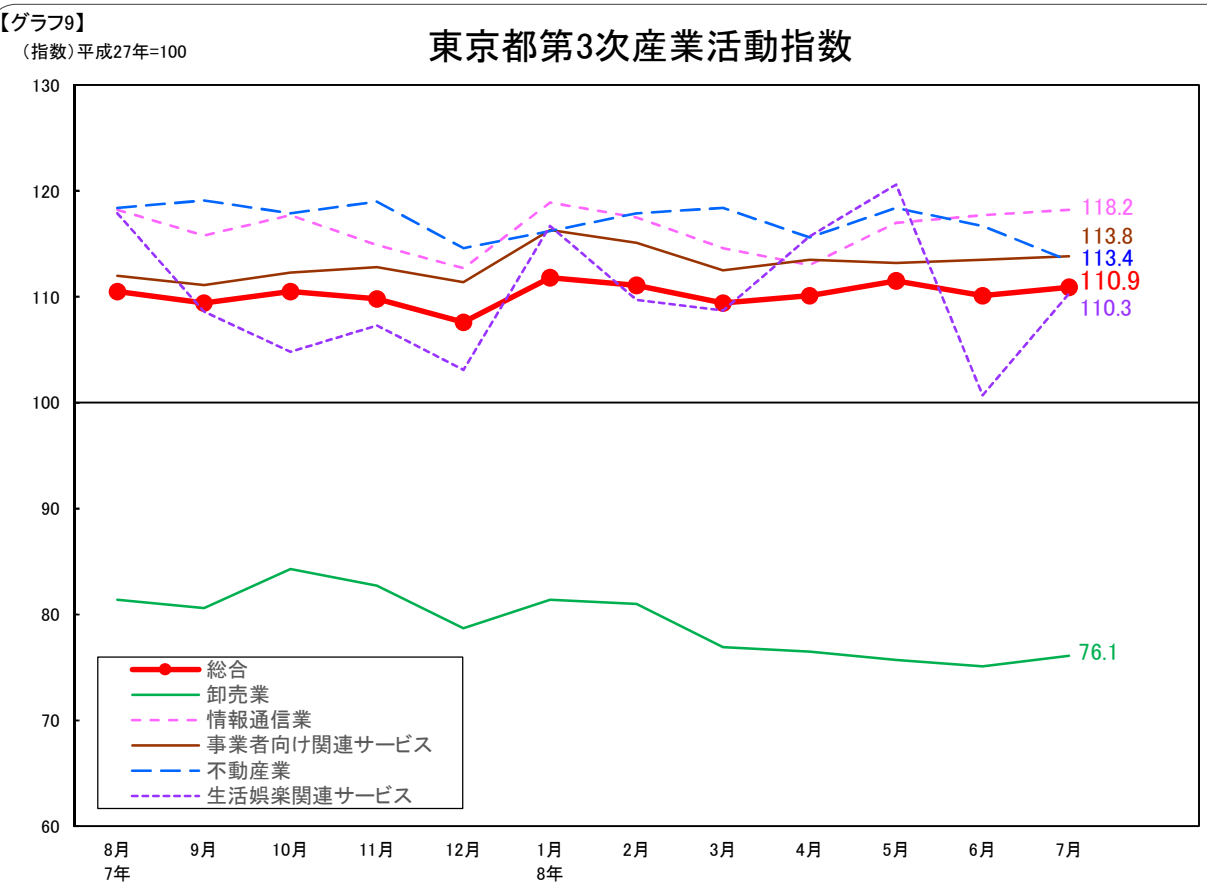
【グラフ8】



※季節調整値

【東京都】

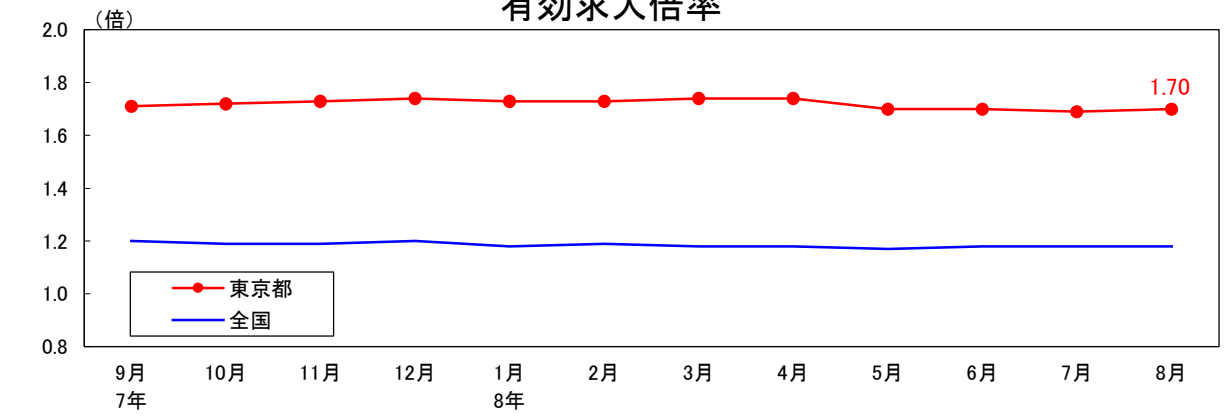
【グラフ9】



※季節調整値　　【東京都】

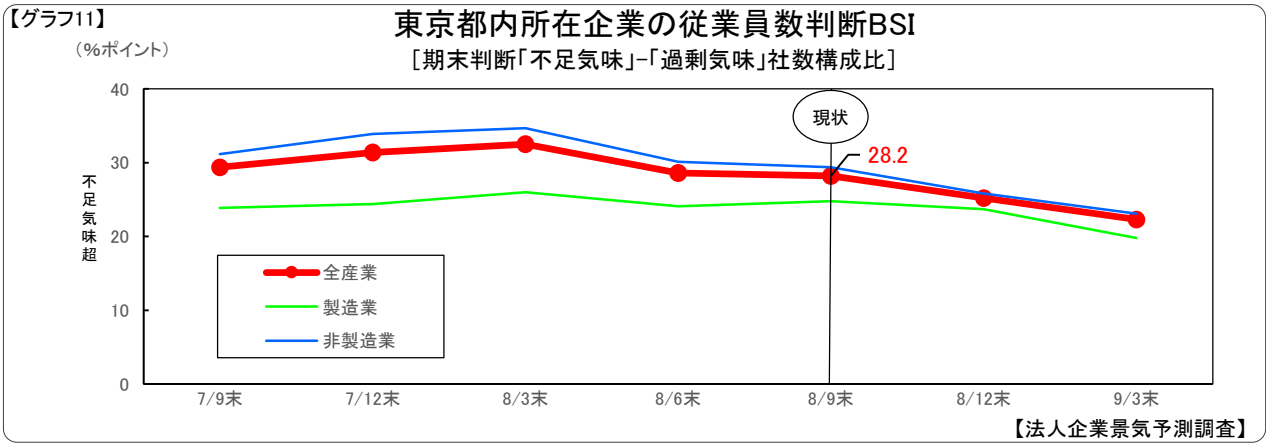
3. 雇用情勢

【グラフ10】



※季節調整値、パートを含む　　【厚生労働省】

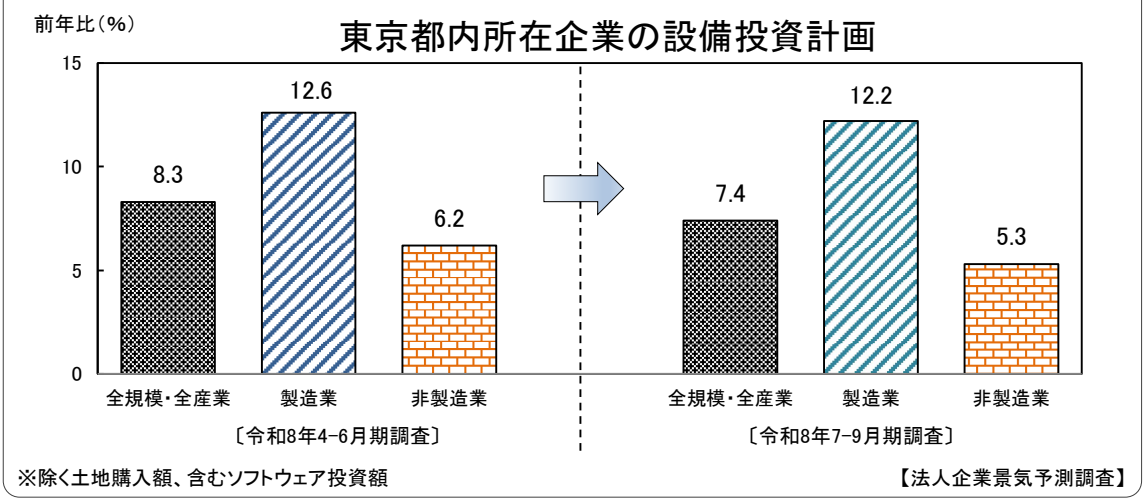
【グラフ11】



【法人企業景気予測調査】

4. 設備投資

【グラフ12】

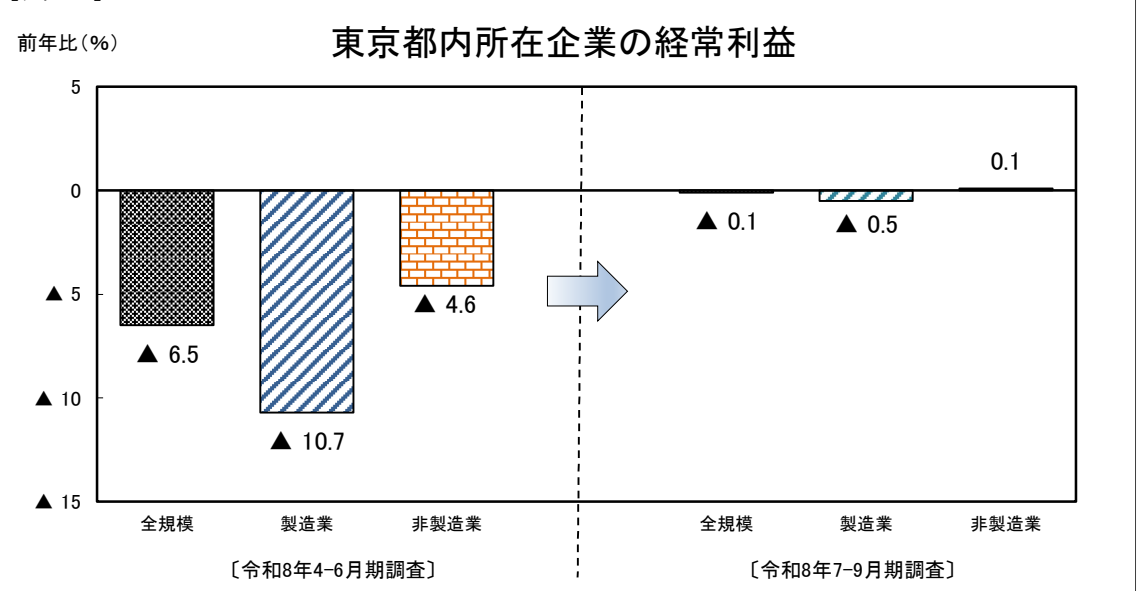


※除く土地購入額、含むソフトウェア投資額

【法人企業景気予測調査】

5. 企業収益

【グラフ13】

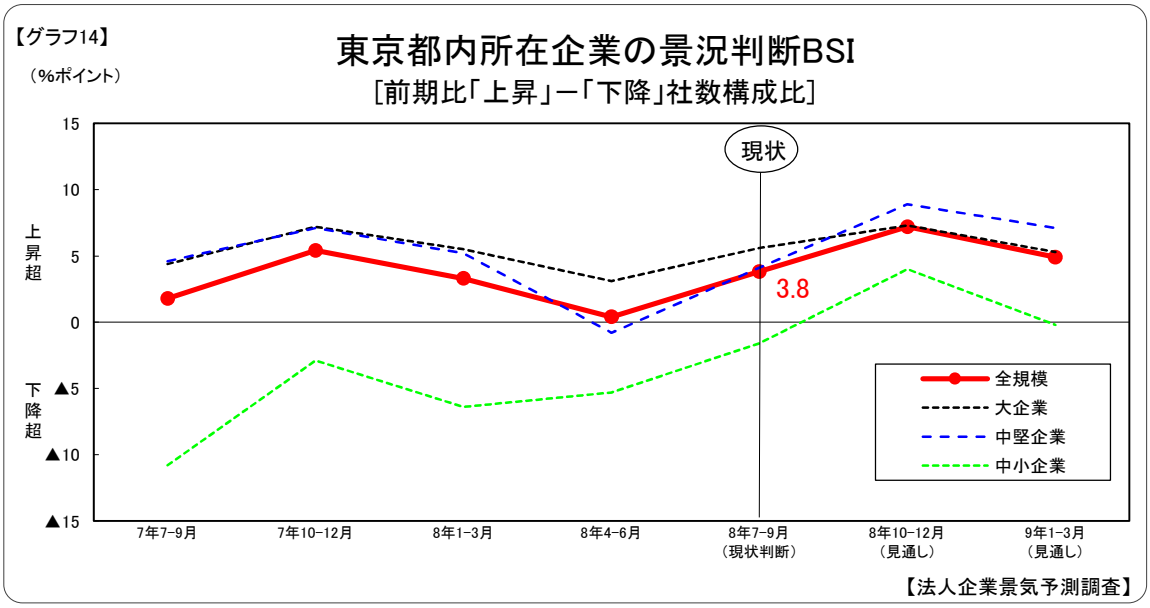


※除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」

【法人企業景気予測調査】

6. 景況感

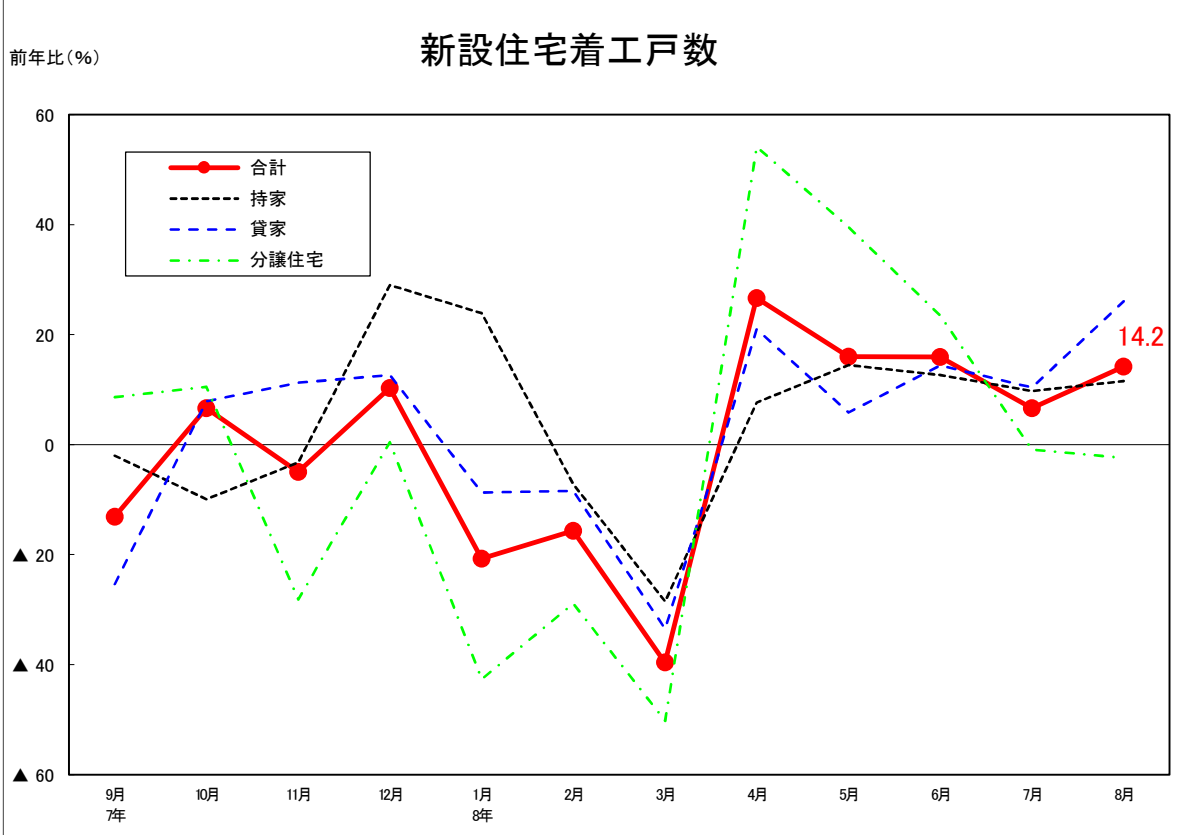
【グラフ14】



【法人企業景気予測調査】

7. 住宅建設

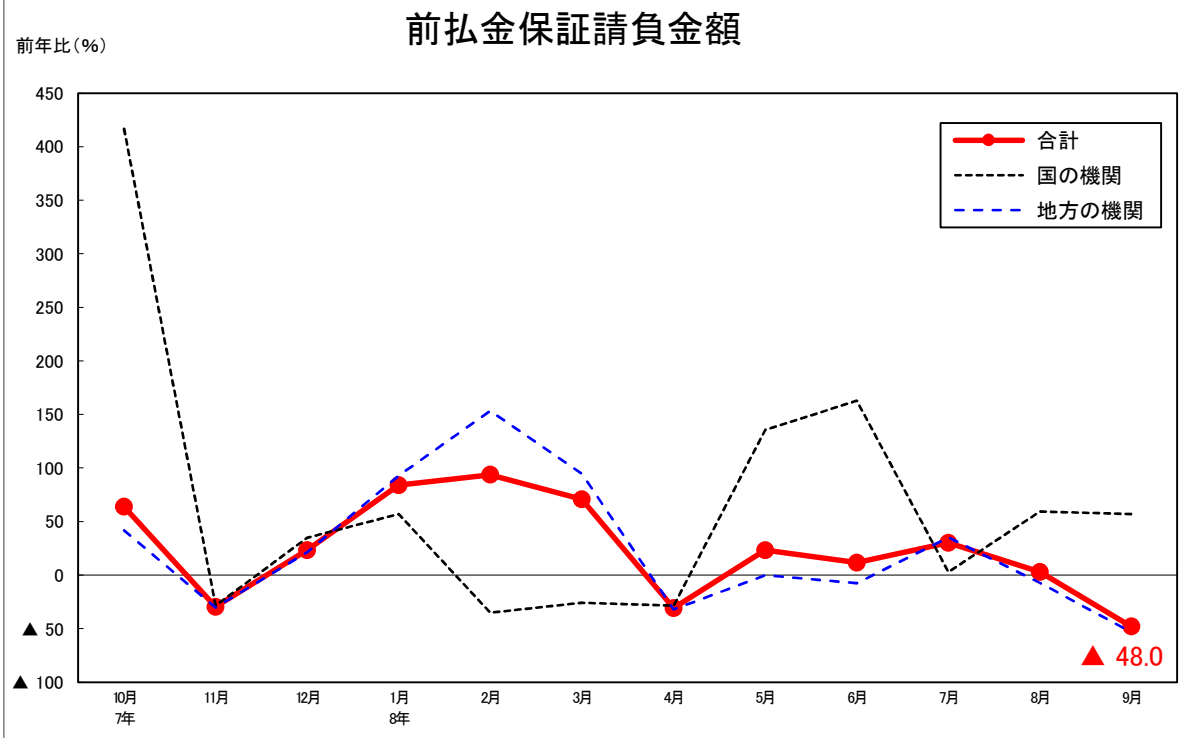
【グラフ15】



【国土交通省】

8. 公共事業

【グラフ16】



【北海道建設業信用保証株式会社、東日本建設業保証株式会社、西日本建設業保証株式会社】